

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	東京地区（主担当大学：一橋大学）
事業名	職員企画による研修 『『図書館で何やってるの?』って聞かれたら……ー統計と図解で描くあなたの図書館』
事業目的・趣旨	東京地区国立大学図書館の若手職員により、以下の研修を企画し運営する。 【目的】 どのようにすれば図書館活動を人にわかりやすく説明できるかを、講義とグループワークを通して学ぶ。 【概要】 大学上層部などの図書館の外側に位置しているステークホルダーに対して、図書館がどのようなサービスの成果を実現しているかを説明するために、統計で用いられる数値やルール、図書館の利用統計の見方や比較の方法について学ぶ。さらに、予算削減に対する反論や電子ジャーナルの価格高騰の理由や背景の説明など、実際に業務で直面している課題を取り上げながら、図書館の活動をわかりやすく説明するための図解化の手法やヒントを学ぶ。 グループワークでは、各自の図書館での業務・活動をもとに課題を設定し、図解を使った問題解決の手法で課題を整理し、対大学当局などを想定した説明資料の作成を疑似体験する。また、講師や様々な担当・経歴の職員との活発な意見交換を通してフィードバックを得ながら、更に資料をブラッシュアップする。最後に作成した資料をもとにプレゼンテーションを行い、図書館活動を人にわかりやすく説明する手法を、実践的なトレーニングを通じて修得する。
実施内容	実施日：平成27年2月23日（月） 実施場所：国文学研究資料館2階オリエンテーション室 研修参加者：23名 【プログラム】 9:30-10:00 受付 10:00-10:15 開会 10:15-12:30 池内淳（筑波大学図書館情報メディア系准教授） ・講演「大学図書館の統計情報」 ・ワークショップ・発表 12:30-13:30 休憩・昼食

	13：30-15：00　講演「図解で課題の整理整頓」 多部田憲彦（日産自動車株式会社）＊ 15：00-16：30　ワークショップ・発表 （コーディネーター：多部田憲彦） 16：30-16：45　総括 16：45-17：00　閉会 ＊『誰でもできる人に見える 図解 de 仕事術』（明日香出版社、2013）の著者 【研修内容】 ・前半：池内淳氏（筑波大学図書館情報メディア系准教授） 　　まず、図書館の経済価値を測定するために使用される様々な手法について学んだ。 　　次に、大学図書館でも度々行うアンケート調査を例に取り、用意された設問に対して参加者自らが回答しながらその設問の問題点を考える個人ワークを行った。その後、答え合わせと共にアンケート調査を行う際の留意点や、集めたデータの適切な表現方法等について学んだ。 　　最後に、統計や数値に関して参加者各自が抱えている問題点について論点のピックアップと対応策の検討を行うグループワークを行った。 ・後半：多部田憲彦氏（日産自動車株式会社） 　　まず、図解が問題の解決に有効な理由や問題解決に使える図解のポイントについて講演があり、講師の体験談を通して図解は共通のコミュニケーションツールとなることを学んだ。続くワークショップでは、実演を挟みながら個人ワークとグループワークにより実際に問題点の整理を行った。																								
事業の成果 （アンケート調査結果、事業への意見・感想等）	（アンケート調査の結果抜粋）有効回答数：22 内容は期待したものだったか <table><tr><td></td><td></td><td>回答数</td><td>割合</td></tr><tr><td>はい</td><td>4</td><td>11</td><td>50%</td></tr><tr><td>↑</td><td>3</td><td>8</td><td>36%</td></tr><tr><td>↓</td><td>2</td><td>3</td><td>14%</td></tr><tr><td>いいえ</td><td>1</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>22</td><td>100%</td></tr></table> <理由> ・実践的でおもしろかった。 ・図書館の活動評価・分析だと思っていた。			回答数	割合	はい	4	11	50%	↑	3	8	36%	↓	2	3	14%	いいえ	1	0	0%	合計		22	100%
		回答数	割合																						
はい	4	11	50%																						
↑	3	8	36%																						
↓	2	3	14%																						
いいえ	1	0	0%																						
合計		22	100%																						

開催時期は適切だったか

		回答数	割合
はい	4	7	32%
↑	3	10	45%
↓	2	5	23%
いいえ	1	0	0%
合計		22	100%

<理由>

- ・入試の時期と重なっていた

時間数・日数は適切だったか

		回答数	割合
はい	4	11	50%
↑	3	7	32%
↓	2	3	14%
いいえ	1	1	5%
合計		22	100%

<理由>

- ・複数日開催は参加しづらく、1日丸々研修が参加しやすい。
- ・もう少しワークショップの時間が欲しかった。

今回の研修で一番印象に残ったこと

- ・アンケートでよくある項目にも問題点が多くあること、可視化することで情報の理解度が大きく変わること。
- ・「図解化」という手法を使うと、自分の思考がとてもすっきりクリアになったことが印象的でした。また、議論もとても創造的になるように感じました。
- ・午前、午後ともに業務にすぐ活かせそうな点が多くあり参考になりました。特に、午前では利用者調査をするとき気をつけるべき点の具体例、午後は自分で MECE で要因分析を行なったワークショップが印象に残りました。

今回の研修についての意見・感想

- ・ワークの時間が短く、すこし残念でしたが、興味深いお話を伺えました。業務改善に関する貴重なお話を伺えました。

	・統計・図解と聞いたときは、もう少し小難しい話が続くのかと思っていたので、思ったよりも実践的でおもしろかったです。また、自分の頭の中を整理するよい機会にもなりました。準備・運営等ありがとうございました。 本企画への要望・提言、または今後受けてみたい研修等 ・分かりやすいマニュアルの書き方、文書処理の仕方 ・今回のように民間企業の方に講義していただくのはとても面白いです。 ・他部署との連携について、何か研修とかあったらいいなと思います。 ・面白く、実践的な内容でした。研修時間が短く、もったいなかったと感じました。(業務の都合がつけば2日間のプログラムとしても良い内容だったと思います。)								
経費	<table><tr><td>講師謝金</td><td>88,000 円</td></tr><tr><td>旅費</td><td>47,198 円</td></tr><tr><td>雑費</td><td>5,671 円</td></tr><tr><td>合計</td><td>140,869 円</td></tr></table>	講師謝金	88,000 円	旅費	47,198 円	雑費	5,671 円	合計	140,869 円
講師謝金	88,000 円								
旅費	47,198 円								
雑費	5,671 円								
合計	140,869 円								